

具体的にどんなサポートがあるの？

- 1 関係作り**
あなたの希望する場所で、就労スペシャリストがIPSについていねいに説明します
- 2 応援のための資料・計画作り**
仕事の希望、職歴、障害や困難の状況など、あなたのことを教えてもらいます
あなたに合う仕事とサポート方法について、ざっくばらんに話し合います
あなたに合った仕事を考えるために、企業を訪問できるように支援します
書面で就労計画を作り、関係者に共有できるようにします
- 3 就職活動**
履歴書作り、求人への応募などを支援します
業務内容の調整・環境作り・配慮など、就労スペシャリストが雇用側と話し合います
就労スペシャリストがあなたと一緒に企業を訪問します
面接や対応へのフォローやサポートをします
- 4 就職後のサポート**
身だしなみや仕事するのに適した服装をサポートします
仕事のスキルを教えるジョブコーチをつけることができます
通勤に関する困難（電車・バスに乗ることができない、など）にも相談・支援します
あなたと雇用側が業務状況について話し合う場を作ります
人間関係・体調・業務など仕事の話、会社を離れて気兼ねなくできる機会を作ります
- 5 さらなるキャリア開発**
今できること・興味のあることに関連したキャリアを考えるサポートをします
学ぶことに興味・関心があれば、それに関連する学校・研修プログラムなどを訪問します
学ぶために必要な経済的援助の制度がある場合、その申請をお手伝いします
学ぶ習慣を確立するためにサポートします
必要があれば、障害のある学生を支援する関係部署と会議を行います

支援のプロセス全体であなたを尊重し、さらにあなたとサポートチームメンバー・雇用主との関係性を大切にしていきます

【IPS関連新刊ご紹介】

広がりつつあるIPS援助付き雇用をより多くの方に知っていただくため、以下の外国書籍の邦訳書を2021年に出版予定。IPSについてより知りたい方におすすめです。

Swanson SJ, Becker DR. Supported employment applying the Individual Placement and Support (IPS) model to help clients compete in the workforce. Center City, MN: Hazelden Publishing; 2015.

- 【文献】
- Drake RE, Wallach MA. Employment is a critical mental health intervention. *Epidemiology and Psychiatric Sciences*. 2020; 29: e178.
 - The IPS Employment Center, State Plan to Support IPS Services <https://ipsworks.org/wp-content/uploads/2018/02/State-Plan-to-Support-IPS-Services.pdf>, 2018
 - The IPS Employment Center <https://ipsworks.org/index.php/what-is-ips/#>

「IPS援助付き雇用」ははじめの一歩のためのパンフレット

【発行日】2020年12月24日 【発行】リカバリーキャラバン隊 連絡先：E-Mail recoverycaravan@gmail.com Facebook：<https://facebook.com/recoverycaravanTai/>
【制作】編集：編集工房まる株式会社 西村舞由子 デザイン：株式会社キガミツ 森田恭行 イラスト：平田利之



IPS就労支援 出版プロジェクト
Facebookページ

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

私の人生の道なり

「仕事」を通して もう一度
自分でハンドルをにぎりたいたい

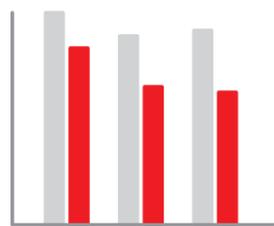


「不安」「怖い」……でも助手席からあなたを支え そばにいる人がいる

そんな 就労支援IPSがあります

「IPS援助付き雇用」ははじめの一歩のためのパンフレット

「IPS」ってなに？



科学的根拠に基づいて「働く」を応援

IPS (Individual Placement and Support) は「個別就労支援プログラム」「個別職業紹介とサポート」と訳されています。精神障害者が働くことをサポートする援助付き雇用モデルの一つで、唯一、科学的根拠に基づいた方法とされています。当初は重度精神障害者が対象でしたが、最近の研究では、発達障害・PTSD・物質使用障害・脊髄損傷のある人、生活困窮者、学生、犯罪歴のある人など対象が広がってきています。



「働くこと」によるリカバリー

働くことは、自分で自分の人生を運転（コントロール）するための重要な要素。IPSでは、「あなたが働けるかどうか、いまは誰も予測できない」とされます。いま、もしあなたが希望を失っているとしても……仕事を通じて、「あなたらしく生きること」を取り戻せるように応援します。



誰もがもつ「働く権利」を大切に

「有意義な人生を追求することは、基本的人権だ」IPSの創始者ドレイク先生はこう言います。働いて有意義な人生を追求するという基本的人権を診断名・病状・薬物使用歴・入院歴・犯罪歴等で排除されることはありません。誰もがいまここから、どう働けるかを、一緒に考えます。



あなたの魅力と可能性を活かした仕事に

あなたが当然のようにやっていること、考えること、好きなこと……それは自分で気付いていない魅力と可能性（ストレングス）かもしれません。IPSでは、支援者があなたをよく知って、魅力や可能性を引き出しそれらを活かした仕事につけるようサポートします。



専門職がチームを組んで多方面から支援

就労スペシャリストだけでなく、医療・福祉従事者ハローワーク等の職業リハビリテーションの関係者など、様々な立場の専門職チームがあなたの希望に寄り添い、一丸になってサポートします。

サービスの質を外部からもしっかり確認

IPSがちゃんと機能しているかどうかを、外部からチェックすることも大切。IPS実践のレベルを測定する「フィデリティ評価尺度」というツールで調査員がサービス提供機関のIPSの取り組みを評価し、サービス向上に役立てます。例えば、以下のような点で評価をします。



- 対象者を排除することなく受け入れているか
- 個別に就職活動をサポートしているか
- 本人の強みや価値観等を知るための資料（キャリアプロフィール）を作っているか
- キャリアプロフィールを随時更新して支援に活用しているか など

「働くこと」で何がよくなる？

精神障害者の約7割が働くことを希望していると言われています。でも、そもそも働くことで、どんな「よいこと」が起きるのでしょうか？例えば、以下のようなことがあるかもしれません。あなたは、働くことを通して、どんなことを実現したいですか？

収入が増える 自尊心が向上する 生活の質が向上する

社会的役割が得られる 社会的なつながりが増える

症状がコントロールできるようになる

入院・精神保健サービスの利用が減らせる

アルコール・薬物などを使う量が減らせる

体験者のことば— 1 【なかちゃん】

働くことで得られるもの

働くことで得られるものにはまず給料があります。それ以外には生活のリズムがつかます。社員の方と一緒に働くことにより、病気の治りが早いと感じています。働いている時は、自分が病気であることを忘れることができます。また、僕の場合、働くことで薬が減りました。働きながら多くの薬を服用することで色々な副作用が出るので、働きにくい場合がありますが、医師と相談して、必要最低限の薬だけを服用すればよいと考えます。さらに、働くことにより友人もできますし、仕事の達成感があり、責任感をもつことができます。特に、リカバリーの道を歩んで結婚できたことは、最大の喜びです。



なかちゃん業務の様子

体験者のことば— 2 【ほりほり】

IPSは人生謳歌する原動力

「この世に自分のできる仕事はない」とのどん底の境地から這い上がったことについて悩んでいることが多いと思いますが、IPSは、そういう悩みがあっても目標に向かうことができるので、悩みが小さく見えてくると思います。私は、アメリカのIPS就労スペシャリストのコースを受講しましたが、IPSを学ぶことができれば、自分自身のやりたいことなど頭が整理され、人生を前向きに楽しく過ごすことができると思います。いずれは、経験を活かしてIPSの国際学会に参加して自分の見解を述べるのが私の夢です。



ほりほり撮影「ここに太陽の陽射し」

体験者のことば— 3 【かけふ】

人生を前向きに過ごすことができる

精神障害をもつ人は、病名をつけられたことについて悩んでいることが多いと思いますが、IPSは、そういう悩みがあっても目標に向かうことができるので、悩みが小さく見えてくると思います。私は、アメリカのIPS就労スペシャリストのコースを受講しましたが、IPSを学ぶことができれば、自分自身のやりたいことなど頭が整理され、人生を前向きに楽しく過ごすことができると思います。いずれは、経験を活かしてIPSの国際学会に参加して自分の見解を述べるのが私の夢です。



私のリカバリーの景色